

2018. 12 December

魔法？奇術？ ミスター西垣 マジックショー

11月20日、こども園でミスター西垣によるマジックショーが行われました。

今回は、こども園の先生たちもマジックに参加、浮遊マジックや入れ替わりマジックなど、次々と起こる不思議な光景を子どもたちは夢中になりマジックに没頭していました。

今月のマジックショーの話題は

7ページ 「まちの話題」へGO!

今月のPickUp

- 一般社団法人なかとんべつ観光まちづくりビューロー設立…………… 2
- まちの話題…………… 6
- infomation…………… 8
- 地域おこし協力隊通信……………10
- ダリン&ジャクレンのALT 通信… 11
- 今月のおすすめ料理……………12
- 図書室だより……………13
- 戸籍だより・編集後記など……………14



なかとんべつ観光まちづくりビューロー設立

〜観光まちづくり組織が1月から運営開始〜

このたび、中頓別町観光振

興計画の推進を目的とする組織、「一般社団法人なかとんべつ観光まちづくりビューロー」（以下本文中では観光まちづくり組織とする）が設立されました。この観光まちづくり組織については、広報6月号にて設立に向けた動きを紹介していたもので、10月1日をもって正式に設立した組織となります。

今回は、観光まちづくり組織「一般社団法人なかとんべつ観光まちづくりビューロー」の設置経緯や基本方針、取り組んでいく事業についてお伝えしたいと思います。

□設置経緯

近年、全国的に日本版DMOの設立が進んでおり、北海道内においても7件設立されています。それに伴い、中頓別町でも外貨獲得や創出を促進することを目的に観光マネジメントやマーケティングなどを行い、地域の様々な観光資源を活かして顧客満足度の高い観光商品を開発し、これを観光客誘致に活用することで、外貨獲得や創出を促進し、地域住民が郷土に対する誇りと愛着を醸成する豊かな地域づくりに繋げていくことを目的として観光まちづくり組織が設立されました。

□基本方針

観光まちづくり組織は、民主導、官バックアップによる一般社団法人として、中頓別町の観光地域づくりの中核となつて持続発展的に活動を推進します。運営にあたって、

この事業を指定管理として受託し効果的な運用を図るほか、町内の観光資源の有効活用について団体、個人と連携を図り、地域全体で事業の展開を目指していきます。

組織としての目標をスタッフと常に共有し、組織全体で事業に取り組みでいきます。また、事業ごとに目標値の設定、計画作成、実行を行い、住民や観光客が求めるサービスの提供を行えるようにしていきます。

□取り組み事業について
事業については公的事业、自主事業、受託事業の3つに分けて展開するとともに、それぞれの事業について、計画、実行、確認、見直しを行いながら実行していきます。

組織の機能としては、これまで中頓別町観光開発（株）、中頓別観光協会、そつや自然学校、農業体験交流施設の4

なかとんべつ観光まちづくりビューローが行う事業区分については次の通りです。
○公的事业について
観光振興事業の役割を明確

にし、

- ① 観光ホームページや各種 SNS、報道機関や広告媒体による、情報発信・宣伝事業
- ② 旅行会社やマスメディアに対して、先方へ訪問しての観光関連の PR や町内現地視察の招致を行い、取り組みへの理解度を深めてもらう、セールス・誘致事業
- ③ 観光客の入込客数や延べ宿泊者数の調査を行う、市場調査・分析事業
- ④ 観光に関する案内・相談業務を一元化し、事業の効率化とサービスの向上を図るほか、観光ガイドを担う町内サポート者を募集し、協会スタッフとともにガイド活動をおこなってもらうなど、地域資源に誇りを持った活動を促進する、観光案内・相談対応事業の業務を当協会に集約することで、

町外からの誘客促進・事業効率化・生産性向上を図ります。また、観光に対して、積極的な地域住民を先導して、主体的に動く組織となります。

○自主事業

収益事業として、町内の団体や個人と連携し、地域の観光資源を組み合わせ「中頓別町ならではの」体験観光や着地型旅行商品の企画開発、特産品を活用した商品開発・販売などを行うことで、稼ぐことのできる事業を推進し、中頓別らしい事業の展開と経営基盤の安定を図ります。

○受託事業

ピンネシリ地区を中心とした、観光事業に関連する公共施設の運営管理を受託し、総合的かつ一体的な経営を行うことによって、最も効果的かつ有効な利活用を実現し、来

訪者へのアプローチやサービスの向上を図ることで、来訪者満足度を高めるとともに、常にお客様目線を忘れずに高いおもてなしが提供できる経営基盤と人材育成を図ります。また、現受託者との指定管理期間が残る施設については、

最もスムーズな事業移管方策について、受託者および関係各所と連携し、速やかな協議を行います。

一般社団法人なかとんべつ観光まちづくりビューロー「これってどういう意味？」Q&A

Q: 日本版DMOとはなんですか。

A: 地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりのかじ取り役のことで、多様な関係者と共同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人です。

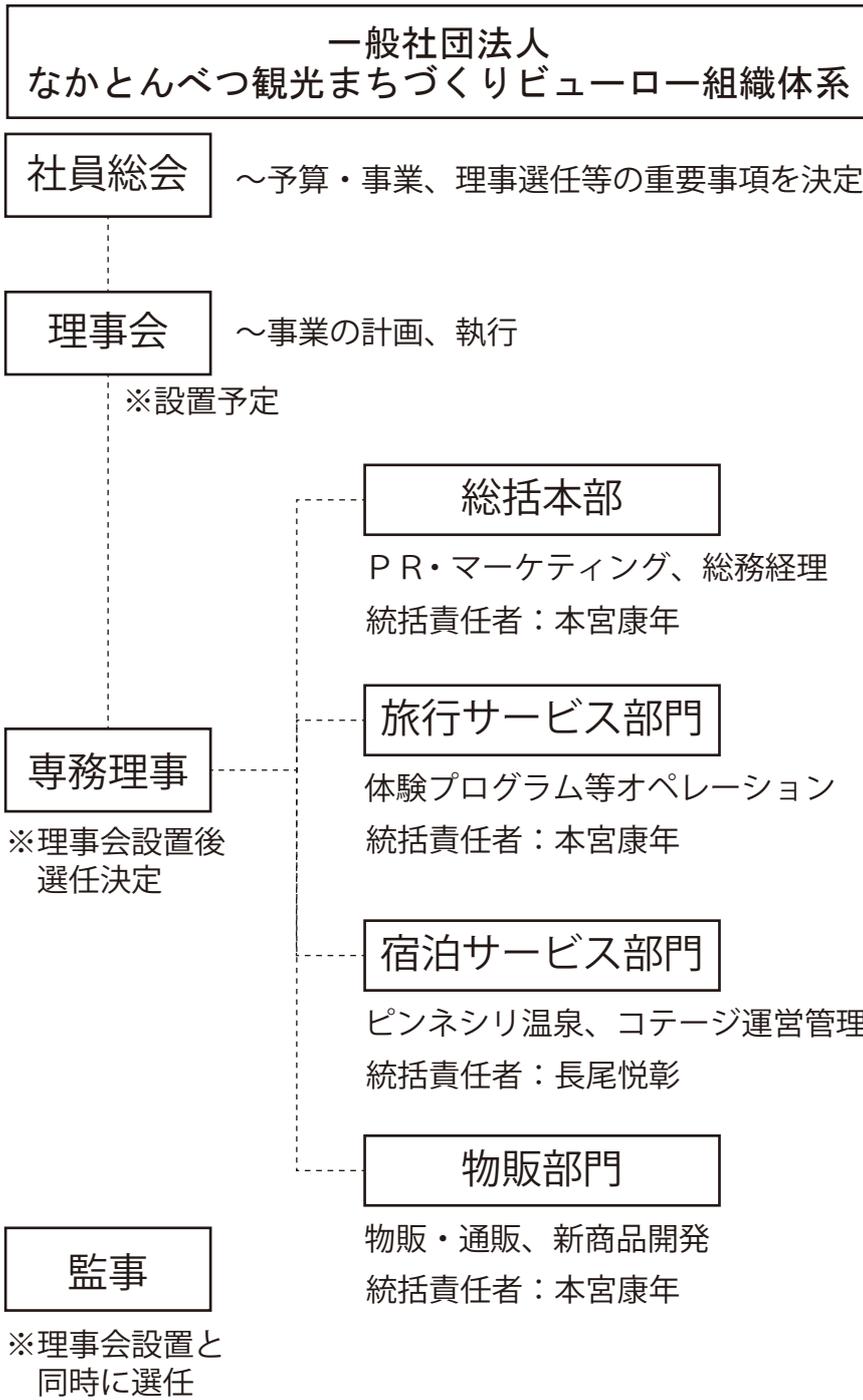
Q: 一般社団法人とはなんですか。

A: 利益の分配を行わないことを前提とし、人が集まって作られる法人のことで。設立のためには2人以上の人(社員)が必要になります。社員には、個人はもちろん、会社などの法人も就任できます。

Q: インバウンド観光とはなんですか。

A: 相手の国から自分の国に観光客が入ってくる旅行のことです。自分の国から相手の国に出かける旅行である「海外旅行(アウトバウンド)」の逆の言葉となります。

□組織体系について



観光まちづくり組織の組織体系は、社員総会、理事会、専務理事と続き、その下に総括本部、旅行サービス部門、宿泊サービス部門、物販部門の4つに分かれています。総括本部では、観光ホームページや、SNSをはじめと

する各種メディアと刊行物による中頓別町のPRのほか、マーケティングや総務経理を担当、旅行サービス部門ではそつや自然学校のスタッフも参加し、季節ごとの様々な体験プログラムとトドマツ蒸留などの創作体験を担当、宿泊

サービス部門では、ピンネシリ温泉とコテージの運営管理を担当、物販部門では、「なかとん牛乳」をはじめとする特産品を活用した加工製造や間伐材のブランド化などを検討します。

平成31年1月1日からは中頓別町ピンネシリ温泉と中頓別町山村交流施設、4月1日からは中頓別町農業体験交流施設とそつや自然学校の指定管理を開始する予定となっています。

各部門統括責任者にインタビュー！

なかとんべつ観光まちづくりビューローの設立にあたり、事業展開を行う4つの部門の総括責任者の方に、今後の活動予定や行ってみたいことについてインタビューを行いましたので、紹介します。



総括本部・旅行サービス部門・物販部門 総括責任者兼任

もとみや やすとし
本宮 康年

OPR・マーケティング部門について、今までは中頓別町の情報発信はしっかりと行えていなかったもので、DMOとしてウェブサイトを開示、町内の観光資源の情報を集積していければと考えています。

○旅行サービスについて、町内には自然体験など様々なプログラムがありますが、バラバラに機能しており、一体的な体験プログラムとはなっていません。自然学校のスタッフとも協力しながら、1泊2日でコテージの宿泊からアウトドアプログラムまですべてを体験できるツアーを計画していければと考えています。

○物販について、平成31年4月から食彩工房もうもうが指定管理を受けることから商品開発を積極的に行っていきたいと考えています。道の駅で商品の販売を考えていますが、立ち寄ってもらったときに気軽に食べてもらえる商品などがあれば、観光客にはより楽しんでいただくと考えています。



宿泊サービス部門 総括責任者

ながお よしあき
長尾 悦彰

観光において宿泊施設は重要なものであり、観光施設を強くしていくことで、移住の取り組みにもつながればと考えています。

まずは、ピンネシリ温泉などの施設を地元の方に今以上に活用していけるよ

うな取り組みを行えればと考えています。そのためにFacebookなどのSNSを活用し、食事の新作メニューや料理長のおすすめなどを積極的に配信していきます。地元の方の意見を聞きながら「地元で愛される施設に！」をスローガンに進めていきたいと思っています。

文化スポーツ表彰授賞式も開催 平成30年度中頓別町民文化祭

11月3日から2日間、中頓別町民センターで平成30年度中頓別町民文化祭が行われました。

会場にはこども園や町内の文化サークルなどによる作品が展示され、ステージ発表や体験・ものづくり、バザーのコーナーに多くの町民が訪れました。

文化スポーツ表彰授賞式で



は、スポーツで優秀な成績を修めた方にスポーツ優良賞が贈られたほか、地域交通を題材にした作文を書き、平成29年度「社会を明るくする運動」作文コンテストで入賞した方には、文化優良賞が贈られました。

受賞者一覧

□文化優良賞

塩田 帆那さん（中1）

□スポーツ優良賞

野田 悠陽さん（中2）

五十嵐 歩武くん（小6）

澤里 亜琥さん（小2）

野澤 珀月くん（小2）

星川 蒼太くん（小2）

村田 地広くん（小4）

伊藤 結衣さん（中1）

□スポーツ奨励賞特別表彰

杉本 吉春さん

千葉 信夫さん

川久保 克孝さん

多田 節子さん

佐藤 道子さん

竹田 イチ子さん

まちづくり協議会主催

まちづくりゼミナール

11月9日、役場会議室で、住民がつくる「もう一つの役場」と題して、まちづくりゼミナールが開催されました。

講師として、特定非営利活動法人ひろしまねNPOセンター理事長の安藤周治さんを招き、道の駅の制度化などの実績を踏まえた地域づくりの理論を学びました。



笑いでボケ予防

健康づくり講座

11月17日、町民センターで健康づくり講座が行われました。

今回は講師として、「コント山口くん」と竹田くんをお呼びし、「ボケないためにボケまくる！これがボケないための常備薬」と題してコントを交えた講座で会場を笑いに包みました。



目の前で見える不思議体験 こども園マジックショー

11月20日、認定こども園でミスター西垣によるマジックショーが行われました。

ショーでは、ステッキが花になるものや人が入れ替わるものなど様々なマジックが披露されました。中でも先生の腕が切断されるマジックはスリル満点。もちろん、先生の腕は切れずに無事でした。



札幌で試験販売

なかとん牛乳を町外で

11月21日、札幌駅前通地下歩行空間で行われた「農家が作ったうまいもの&ノウフクマルシェ」に中頓別町が出店しました。

今回は、なかとん牛乳や天北厚生園の乾燥椎茸などを販売。どれも時間内に完売し、多くの来場者に商品のPRを行うことができました。



寒くても焚火を囲めば暖かい

ピンネシリこどもキャンプ

11月24日、そうや自然学校でピンネシリこどもキャンプが行われました。

今回参加したのは小学生15名で、自然学校の敷地内でマッチを使った火おこしや簡単な野外調理も行い、寒空の下焚火を囲んでウインナーやマッシュマロを焼いて食べました。



言動の先を考える

小中学校人権教室開催

11月22日～30日で小学校、中学校で中頓別町人権擁護委員の井野順子さんを講師に迎え、人権教室が行われました。

人権教室は22日に中学校、26日に小学校高学年、28日に低学年、30日に中学年に対して行われ、小中学生はビデオや紙芝居を見て、心無い言葉やインターネットによる人権侵害が起きないように勉強しました。



□北海道応援大使とは

北海道日本ハムファイターズが北海道移転 10 年目を記念し、ファイターズ選手自らが道内市町村の「応援大使」を務め、PR などを行う企画として、2013 年からスタートした取り組みです。毎年、道内 18 市町村が抽選で選定され、ファイターズ選手が 1 年間の任期で応援大使を務めています。

北海道日本ハムファイターズ ファンフェスティバルで抽選会を行いました。

11 月 24 日(土)に北海道日本ハムファイターズ「ファンフェスティバル 2018」が札幌ドームで開催されました。イベント内で、北海道 179 市町村応援大使 2019 抽選会が行われ、中頓別後援会員の五十嵐歩武君が中頓別町を代表して抽選を行い、「高梨 裕稔選手」と「白村 明弘選手」が 2019 年中頓別町応援大使に決定しました。



応援大使に決定した白村選手と
後援会員の五十嵐君

2019 年中頓別町応援大使 選手情報



高梨 裕稔(たかなしひろとし)

- 背番号 39
- ポジション 投手 右投げ右打ち
- 生年月日 1991 年 6 月 5 日(27 歳)
- 身長 / 体重 187 cm / 85 kg
- 出身地 千葉県
- 投打 右投げ右打ち



白村 明弘(はくむらあきひろ)

- 背番号 43
- ポジション 投手 右投げ右打ち
- 生年月日 1991 年 12 月 11 日(26 歳)
- 身長 / 体重 187 cm / 84 kg
- 出身地 岐阜県
- 投打 右投げ右打ち

©H. N. F.

○北海道日本ハムファイターズ中頓別後援会では、引き続き会員の募集を行っています。申し込みを希望される場合は、中頓別後援会事務局長藤田(6-1734)までご連絡ください。

11月8日～10日の日程でなかとんべつ町民交流団が大崎上島町を訪問しました。

本事業は隔年で相互に訪問団を派遣して交流を行っているもので、今年が事業実施の年にあたります。

交流団は観光協会の西浦岩雄理事を団長として9名の町民訪問団が参加。楢原民之助翁の墓参をはじめ町内視察を行ったほか、昨年1月に中頓別町を訪問された方々にも再会するなど、大崎上島町(旧東野町)との姉妹縁組の協定を締結してから約30年が経過することもあり、今後、さらなる友好の深化に向けた新たな交流の展開の可能性を模索するため、行政職員による意見交換も行いました。この結果、なかとん牛乳と大崎上島町で生産されているレモンなどの柑橘類との組み合わせによる商品化に向けて継続的に協議を進めていくことが確認されました。

大崎上島町交流 記録写真

楢原民之助翁の墓参



創業 80 年
岡本醤油醸造所見学



みかん農園見学



交流会の様子



大崎上島町太鼓保存会
による演奏



なかとんべつ
町民交流団写真



交流事業関係者
集合写真



訪問あいさつ



平成 30 年 7 月豪雨災害に
対する復興支援金の目録贈呈



地域おこし協力隊通信

第9号

～アライグマが増加傾向にあります。～

今月の協力隊通信は、8月号にも掲載しました外来生物のアライグマについて、有害鳥獣対策員の山下隊員が防除講習会に出席して知った事例と、現在の捕獲状況についてお知らせしたいと思います。

8月号ではアライグマの生態について概要の紹介と注意喚起を行いました。改めて内容を簡単に説明しますと

- ①一度に3～6頭もの子どもを産む
 - ②雑食性で牛のエサや野菜など何でも食べてしまう
 - ③天敵がないため全国的に増加傾向にある
- などの特徴があります。

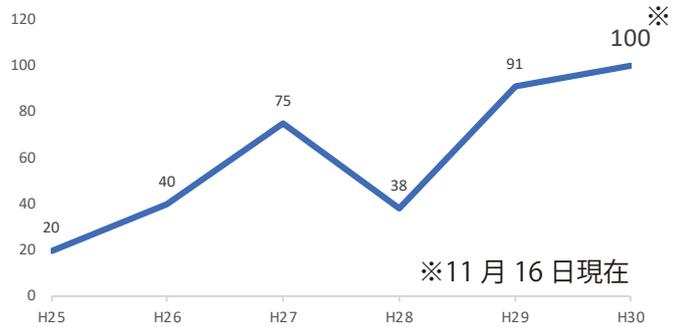
今回再びアライグマを話題として取り上げたのは、11月に稚内で行われたアライグマ防除講習会にて発表された「秋の終わりから冬にかけて牛舎での出没が増加する」という事例を知っていただくためです。その理由として

- ①野菜の収穫が終わるため、栄養豊富なエサを求めて牛舎へ出没しやすくなります
 - ②降雪の影響で自然界のエサが減少するため、飢えをしのぐため牛舎へ出没しやすくなります
- とのことでした。

実際にこの事例を裏付けるように、家庭菜園の収穫が終わった10月中旬頃から牛舎内での捕獲が相次いでおり、11月現在の捕獲数は既に去年の総捕獲数91頭を超える100頭が捕獲されました。過去5年間のグラフを比較すると町内のアライグマが右肩上がりに増加していることがわかります。

本格的に雪が積もるこれからの季節は、さらなる出没や捕獲が予想されます。捕獲しました、と連絡をもらえればすぐに駆けつけますので、よろしくお願ひします。

アライグマ 捕獲頭数



～「なかとん生活エッセイ」第2弾！～

協力隊員月替わりのリレーエッセイ第二弾。今回は自然学校に勤める加藤がお送りいたします！

【なかとんのここが好き！】

中頓別に移り住んで、この夏で一年という区切りを迎えました。秋に約八か月ぶりに帰省し、忙しい東京のビルの森に囲まれながら、あるいは終電の電車で揺られながら、これほど空気が澄んでいたりすると愕然としました。華やかでモノと人に溢れた都会も好きですが、中頓別の無限に続いていくような地平線と広く高い空の間で、ゆったりと流れていく時間は得がたいものだと感じます。

この夏は地域の方と一緒にヤマメ釣りに挑戦しました。釣りの経験はほぼゼロにもかかわらず、釣果は上々！ ほぼ入れ食い状態のシーンもあって、毎日塩焼きやてんぷら、から揚げにしたりしておいしく頂きました。神奈川に住んでいたころは釣りや山菜採りとは無縁の生活を送っていたのですが、中頓別に来て春は行者にんにく、タラの芽、秋はラクヨウキノコ、エノキタケなどなど様々な恵みを舌で感じる楽しみも覚えました。先日お知り合いから頂いたヤマブドウのジャムは絶品の一言。強い酸味とほのかな甘みが病みつきになってしまいます。

中頓別で過ごして一番好きになった季節は、意外にも冬。正直、雪かきや雪道の運転はできれば避けたいところですが、冬の森を歩くのは格別のひとときです。しんと冴えて凍てつくような空気を取り込むと、身体がしゃっきりと目覚めて、雪を踏みしめるたび響く足音に、今ここで生きているんだなあなんて実感します。

雪面と曇天の灰白色のなかに佇むトドマツやアカエゾマツの深い緑は、まるでお伽噺で親しんだヨーロッパの森のよう。中頓別だからこそ味わえる、厳しい冬の醍醐味です。もうすぐ始まる中頓別の冬を前に、スノーシューを手にもずはピンネシリ森の息吹を感じにいきましょう。



木漏れ日の下で釣りに挑戦！

「中頓別町地域おこし協力隊」では、日々の活動や生活の様子を発信するブログと Facebook ページを開設しています。是非ご覧ください。

「地域おこし協力隊ブログ」は、役場ホームページからもアクセスできます。

ブログ - Facebook



ダリン&ジャクレンの ALT 通信



This article written by Mr. Darin

今月の担当はダリン先生

Aloha Nakatombetsu! With the cold season and holidays approaching, let's learn some English words and phrases for the winter.

アロハ、中頓別の皆さん！寒い時期と冬休みが近づいてきたので、冬用の英単語と表現を学びましょう！

- ① Blanket of Snow - 毛布のように、雪が地面を掛けている
ex: Last night, it snowed so much that when I woke up this morning, the ground was covered with a blanket of snow.
昨日の夜、雪がいっぱい降っていて、朝に起きた時、地面が真っ白になった。
- ② Bundle up - 暖かくして、たくさん服を着る
ex: You better bundle up! It's so cold outside!
暖かくしないと！外がめっちゃ寒いよ！
- ③ Snowed in - 雪がたくさん積もっていて、家を出られない
ex: It's supposed to blizzard tonight. I hope you don't get snowed in.
今夜は猛吹雪だって。明日、家を出られるといいね！
- ④ A White Christmas - 雪のクリスマス
ex: It looks like this year we will have another white Christmas.
今年もクリスマスに雪が降るだろうね。
- ⑤ Home for the holidays - (年末年始／連休に) 実家に帰る
ex: I'm gonna go home for the holidays.
年末年始に実家に帰ります。

In America, December has not only the Christmas holiday, but other holidays such as Hanukkah, Kwanzaa, as well as New Year's Eve. This time of the year is called the Holiday season. Here are a few greetings we say during this festive time!

アメリカでは、12月はクリスマスだけじゃなく、他の休日、例えば、ハヌカー、クワンザ、大晦日などもあります。この時期は「ホリデイ・シーズン」と呼ばれています。このお祝いの時期の挨拶を紹介します！

- ① Season's Greeting! (年末年始の挨拶) シーズンズ・グリーティング！
- ② Happy Holidays! 楽しいホリデイ・シーズンを過ごしてください！
- ③ Best wishes for the holidays! ホリデイ・シーズンのご多幸を祈ります！



今月のおすすめ料理

～薄味でもおいしく食べられるメニュー～

<ほうれん草のくるみ和え>

市本栄養士



- 作り方 -

- ① ほうれん草は熱湯でゆでて水にとり、水気を絞り3～4cmの長さに切る。
- ② 生しいたけは軸を取ってゆでて薄く切る。
- ③ くるみはから炒りにし、すり鉢に入れてすり、材料の◎を加えて混ぜる。
- ④ ①と②を③であえる。

[ほうれん草のくるみ和え]

材料 (2人分)

□ほうれん草・・・150g

□生しいたけ・・・30g

□くるみ・・・12g

砂糖・・・小さじ2/3

◎ 醤油・・・小さじ1

だし・・・小さじ2



日々の生活の中で、塩分の摂り過ぎが血圧を上げてしまう要因のひとつになっていることから、今回は塩分以外の調味料や調理方法を工夫するだけで薄味でもおいしく食べられるメニューをご紹介します。減塩のポイントとしてくるみ、ごま、アーモンド、ピーナッツなどの種や実を使うことで風味が増し、食塩量が少なくてもおいしくいただくことができます。また、ほうれん草以外にも小松菜やチンゲン菜などの野菜を使ってもおいしく作ることができます。ほかにも普段の食生活の中で工夫できる減塩の調理方法としては、からし、こしょうなど香辛料を使う、ハーブ、しその葉など香味野菜を使う、酢、ゆず、レモンなどの酸味を効かせる、干しいたけ、かつお節、昆布などの旨み成分を利用するなどがあげられます。また、みそ汁を毎日飲んでいる方は具たくさんにして一日一杯にする（野菜やきのこで具たくさんにするとその分、汁の量が減らせ素材の旨みで減塩しやすくなります）、醤油、ドレッシング類は「かける」より「少しだけつける」程度にするなど食べ方でもひと工夫することができます。適切な食習慣を身に付けることは高血圧の予防だけでなく、様々な生活習慣病の発症リスクを低下させることにもつながります。

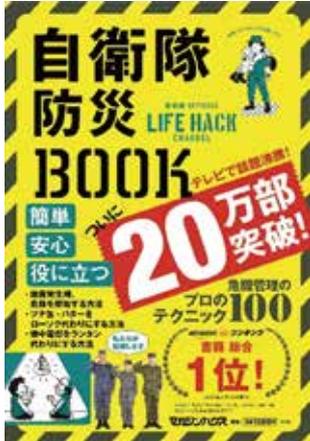
毎日の食生活や生活習慣を見直し、健康を増進させて、生活習慣病を防いでいきましょう。

図書室だより

一般書

『自衛隊防災BOOK』

協力：自衛隊 / 防衛省 マガジンハウス



あなたやあなたの大切な人を守る力になる。
いざというときに私たちを助けてくれる危機管理のプロ、自衛隊のノウハウを初公開。

児童書

『宇宙めいろブック』

著：サム・スミス あかね書房



ロケットに乗って、さあ旅立とう！
でも、行く手がめいろに！！
無事に宇宙を進んで行けるかな？

新着図書 (11月20日現在)

一般向け図書

『牧水の恋』
『青くて痛くて脆い』
『凍てつく太陽』
『神に守られた島』
『ブロードキャスト』

俵 万智
住野 よる
葉真中 顕
中脇 初枝
湊 かなえ

児童向け図書

『どんぐりむらのいちねんかん』 なかや みわ
『ノラネコぐんだんおばけのやま』 工藤 ノリコ
『行ったり来たり大通り』 五味 太郎
『日本のおかしな現代妖怪図鑑』 朝里 樹
『イヤイヤ！ブタのパンやでイヤヤ！』
たかい よしかず

※図書室から借りたままの本はありませんか？

休館日等の場合は、返却ポストをご利用のうえ、早めの返却をお願いします。

読み聞かせボランティア「このゆびと～まれ♪」の活動

10月25日 小学校での読み聞かせの様子



【お願い】

最近、リサイクルコーナーに無断で本が置かれています。

ご自由に利用できますが、本の寄贈は図書室までお願い致します。

It is good that we have lived in Nakatombetsu
and we would like to live there for long.

— 住んでいてよかった これからも住んでいたい —

運河背に絵描きが居りし虎落笛 高橋 恵翠	木の葉散る見る見る空を高くせり 山崎 静女	朝まだき地面輝く霜の花 平田 栄珠	針穴の通らぬ糸の暮早し 峰友 緑恵	蝦夷地より出雲の国へ神意月 高橋 妙子	ひとり住みて冬ざる庭詫しかり 東海林 海峯	季節巡り恍惚として眠る山 武田 雄峰
-------------------------	--------------------------	----------------------	----------------------	------------------------	--------------------------	-----------------------

やまなみ吟社 十一月例会

戸籍だより

11月1日～11月30日受付分
(公開にご了承いただいた方のみ掲載しています)

うぶごえ

字中頓別 田邊 奈々子ちゃん
(正年さんの子 11月20日)

人のうごき

(平成30年11月30日現在)

世帯	898(+5)
人口	1,738(+9)
男	865(+4)
女	873(+5)
()内は前月対比	

中頓別町役場の新しい職員を紹介します



地域おこし協力隊 (産業グループ)

道の駅ピンネシリ担当

李・詩瑩 (リ・シエイ)

※昨年7月4日～8月10日の期間で台湾中華大学観光学科の学生として中頓別町インターンシップ事業に参加。このたび地域おこし協力隊員として当町に就職することとなりました。

編集後記

●ついに中頓別町でも雪が降りだしました。最近では吹雪になって積もったり、雨になって溶けたりと、まだまだ安定しない天気が続いています。車の運転では、溶け残りにタイヤを取られてスリップしないように気を付けていただければと思います。

●今月15日は、町営スキー場のオープン予定日となっています。リフトも新しくペア仕様になり使いやすくなりましたので、皆さんもぜひ滑ってみてください。

オープンの日にはテープカットもあるそうです! 【広報担当 A】

広報なかとんべつ 12月号 Vol. 708

【発行】 2018年12月10日

【編集】 中頓別町総務課政策経営室 〒098-5595 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別 172-6

TEL 01634-6-1111. FAX 01634-6-1155

HP <http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp> e-mail koho@town.nakatombetsu.lg.jp

【印刷】 有限会社 天北印刷工業

*この広報誌は再生紙を使用しています。